

JACR委員会報告 [モノグラフ編集]



宮代 勲 JACR理事

大阪国際がんセンター

杉山裕美 放射線影響研究所
田淵貴大 大阪国際がんセンター

JACR Monographは学術集会の記録集として1995年に発刊され、2013年(第19刊)から論文の投稿も募集し、毎年度1冊が刊行されています。ISBN(国際標準図書番号)が取得されており、がんの記述疫学研究を主とした学術的な単行本です。杉山先生、田淵先生、私の三人で編集を担う新たな編集体制となった2019年3月発刊の第24刊に続き、2020年3月に第25刊を発刊しました。

新たな編集体制での発刊に際しては、第1部を構成する論文集の投稿規定や査読プロセスを見直し、編集委員以外の査読者も含めた複数でのpeer reviewとしました。査読プロセスを経ない第2部を構成する学術集会記録については、あり方を見直しました。学術集会での配布物と重複する抄録集や研修会資料を再掲する意義は乏しいと編集委員は考えており、従来のB5版からA4版に変更し、抄録集の再掲については縮小掲載、研修会資料については再掲しないこととしました。抄録に加筆するが査読プロセスを経ないものの学術集会記録としての掲載は継続していますが、査読プロセスを経る第1部への投稿を促しています。

第29回学術集会がWeb開催となり、ポスター発表が演題毎にPDFファイルとして扱われることから、令和2年度末刊行予定の第26刊では、筆頭発表者の同意のもと、ほぼ全てのポスターを掲載する予定です。また、スペースの制約で紙媒体としては掲載が困難な補助資料(図、写真、表)について、JACR会員用Webページで公表できるよう、2020年6月に投稿規程を修正しました。

JACR Monographが、がん登録を活用し、がん対策を効果的に推進するための一助になることを願っています。

JACR モノグラフ投稿案内

http://www.jacr.info/publication/pub_monograph.html



JACR委員会報告 [広報委員会]



松坂 方士 JACR理事

弘前大学医学部附属病院

杉山 裕美 放射線影響研究所
片山 佳代子 神奈川県立がんセンター臨床研究所
田淵 健 東京都立駒込病院
阪口 昌彦 大阪電気通信大学

広報委員会では都道府県がん登録室や院内がん登録室、がん登録を利用した研究の紹介、がん対策の今後に関する提言などをご寄稿いただき、ニューズレターを通して会員の皆さまのがん登録運営に役に立つ情報を発信してきました。また、協議会ホームページの内容を見直し、がん対策の基盤であるがん登録の重要性をアピールすることにも努めています。

がん登録等の推進に関する法律の施行に伴い、都道府県は精度向上の一步先であるデータ利用への対応が必要です。また、当協議会が進めているJapan Cancer Information Partnership(J-CIP)事業に代表されるように、がん登録データはがん対策のさまざまな場面で重要な鍵となりますので、広報委員会ではこれらについて情報提供して参ります。また、ニューズレターでデータの解釈に役立つ統計の知識などを連載して、実務者や行政担当者が統計資料への理解を深めることをお手伝いすることで、当協議会の活動が今後の都道府県のがん対策にさらに貢献できるように努めていきたいと考えています。

先日の学術集会でも院内がん登録からの優れた研究発表や活動報告が目立ってきました。今後はますます協議会内の院内がん登録に関する情報交換が盛んになってくるものと予想され、そのプラットフォームとしてニューズレターや協議会ホームページや会員専用ページを活用したいと考えています。また、院内がん登録と全国がん登録の担当者・実務者レベルでの意見交換の場は、当協議会でしか提供できないものと自負しています。これからさまざまな企画を通じて、広報委員会が全国がん登録と院内がん登録の協調的な発展のお手伝いをしていきたいと思っています。

広報委員会ではSkypeを利用して適宜意見を交換しています。会員の皆さまから「このような情報が欲しい」というご意見をいただければ、ぜひ検討させていただきたいと考えております。